

「住みよい新津めざして」

軌道にのった生活優先の建設事業

市では、市民のみなさんが望んでいる“住みよい新津”を目ざし、全力をあげて取り組んでいます。

とくに今年度は、決められた予算の中で、市民会館の完成をはじめ、福祉施策の充実、生活道路・下水道の整備、学校施設の改善などを重点に、いろいろな新

しい建設事業に力を入れてきました。そして市総合開発計画のビジョンにそって人間優先を基本とした市民福祉のまちづくりを、今後とも本格的におし進めようとしています。

今年度もあますところあとわずか、今号は、今年

みどりもあって、近代的な住みやすい住宅に……

建て替えるすすむ市民住宅

— 新栄町には近く24戸分が完成 —

住宅がなくて困っている人たちの入居要望をできるだけ多く満たすため、市では、いま良い環境の市営住宅の建設に力を入れています。

この計画は、豊かな市民福祉づくりの一つとして、古くなった市営住宅を、近代的な住みやすい住宅に建て替えるすすめるもので、これまでのせまい——という住宅イメージから、より規模を大きくしたデラックスハウスとしての内容的な充実がはかられます。

今年度は、新栄町の野球場前に、昨秋から水洗トイレ化が設備された鉄筋4階建て24戸分を建設しているもので、いま急ピッチで年度内工事を急いでいます。

市では、今後とも新栄町にある老朽化した木造住宅の建て替えを順次すすめながら、その数を倍近くに増やそうと計画しています。

なお、住宅の新築ばかりでなく、その住宅環境も植樹ができる緑地帯や、児童遊園地、それに集会場などがあって、排水路、道路網も整備された住宅団地づくりを、これらの計画に合わせ一生懸命すすめることにしています。



老人福祉センター

期待集めて「クワ入れ式」

お年寄りのための保養施設「老人福祉センター」の建設にとりかかりました。

先ごろでは、市長をはじめ関係者が集まって「クワ入れ式」が行われ、工事の無事を祈願しました。老人福祉センターには、全館冷暖房、超音波の豪華な浴室も設備されます。

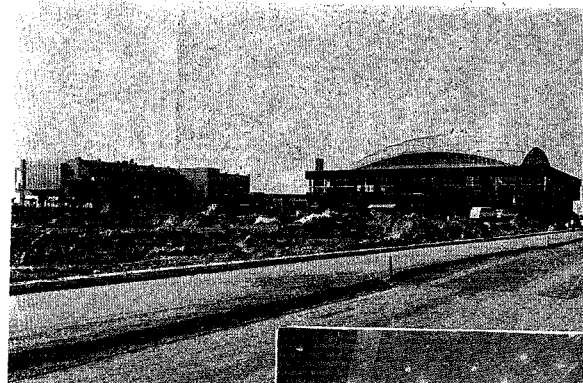
いま秋葉グラウンド跡には、一日も早い完成めざし、急ピッチで工事が進められています。

すすむ市民福祉のまちづくり

—— 待望の市民会館も完成みる

度々いろいろと市がやってきた主な建設事業などをピックアップし、財政事情のお知らせと合わせ、写真ルポというかたちで特集してみました。

なお、財政事情のお知らせは10ページから掲載してあります。

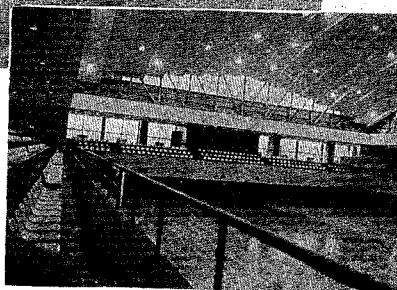


完成なった 待望の市民会館 いまや活用多く “フル回転”

市民のみなさんが待ち望んでいた市民会館が、昨年の11月、ついに完成しました。

市民会館は、大ホール棟と会議棟からなっていて、大ホール棟には、室内競技場をはじめ豪華なステージ、どん帳、観覧席などが設けられました。

いま市民のみなさんからは、催し物や集会に、そしてスポーツにと、フルに活用されています。



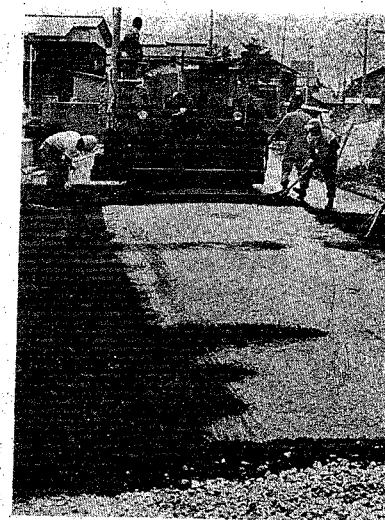
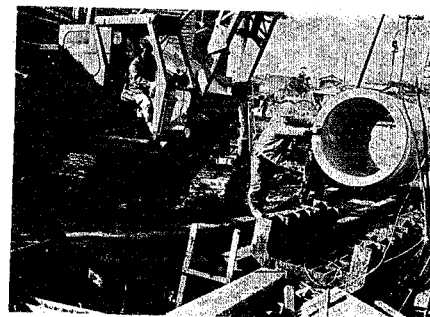
急ぐ下水道工事

快適な市民生活のために

新津市は、県内に20ある市のうち、5番目に公共下水道事業の認可を受けて事業を進めています。

今年度は、善道町の一部から本町2丁目まで、およそ雨水管で1,200メートル、污水管で1,300メートルにわたる工事を行ないました。

快適な生活環境、市民生活のために下水道工事計画は順調です。



市道舗装100%めざし

大きく取り組む整備事業

道路舗装は、市が重点事業として取り組んでいる一つです。

45年に5か年計画をたてましたが、はじめの計画よりも1か年早い4か年、つまりピッチを上げて舗装事業に取り組み、今年度でこの計画を全部終わってしまいました。

今後は、残っている道路舗装整備をいっそう早く、市道舗装100%めざし、年次計画を急いでいます。